

滋賀県消防研究会

発表2作品が東近畿大会へ出場決定



県下各消防本部（局）から13作品が発表

令和8年7月7日（火） 滋賀県消防学校にて、滋賀県消防長会主催の消防研究会が開催され、「消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文」で当消防本部の消防司令補 佃誠治・消防士 川崎優生が考案した「泡消火薬剤対応ジェットシューターノズルの考案」が優秀賞、消防士長 木下裕貴・消防士 北川竜聖が考案した「廃棄ホースを利用した浴槽救出補助器具（リフトスリング）の開発」が奨励賞を受賞しました。

【佃・川崎】 「泡消火薬剤対応ジェットシューターノズルの考案」



林野火災における消火薬剤の効率的な使用を目指してネット式簡易発泡器を簡易化してジェットシューターに取り付けられるように改良した「アタッチメント式の発泡ノズル」となります。

【木下・北川】 「廃棄ホースを利用した浴槽救出補助器具の開発」



浴槽での救急事案では、浴槽内の傷病者を救出する際に落下リスクや隊員の身体的負担が多いことから、これらの問題を改善するために廃棄ホースを利用した本機器の開発に取り組みました。